

マンズリー
多文化サロン



現代北欧児童文学にみる死生観

デンマークに生まれた童話の王様アンデルセンは、1835年に初めて子ども向けのお話を集めた小品を世に送り出しました。ここから北欧児童文学が開花します。ヤンソンの「ムーミン」、リンドグレーンの「ピッピ」を経て、新しいかたちの児童文学が次々と形成されていきます。今回はアンデルセン時代から語り継がれているテーマ「死生観」に焦点を当て、現代の作家がこのテーマをどのように子どもに伝えようとしているのかを考えてみたいと思います。

田邊 欧 (大阪大学大学院 人文学研究科 外国学専攻 教授)

専門分野は近・現代北欧文学。研究テーマは現代デンマーク文学、アンデルセンに関する研究、北欧モダニズムなど。



3月16日
開催!

会場は大阪大学
箕面キャンパス
です!

【日時】 2023年3月16日 (木) 19:00-20:00

【場所】 大阪大学 箕面キャンパス 1F 大講義室

大阪府箕面市船場東3丁目5-10

またはオンライン (参加者にはリンクをお知らせします)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催のみとなる場合があります。

【お申込受付期間】 2023年3月3日~13日 (平日9~17時)

下記のURL/右記のQRコードの登録フォームにて

<https://forms.office.com/r/h6bauscqCB>

または大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013

✉ jinbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp

※14日を過ぎても連絡メール不着の場合は、担当者までお知らせください。

【参加費】 無料

APRIL 2021

OSAKA UNIVERSITY
NEW MINOH CAMPUS



登録フォームはこちら

主催：大阪大学外国語学部

協力：みのお市民活動センター